

お母さんと赤ちゃん、 ご家族の笑顔を守るために

地域周産期母子医療センター長 初田和勝

産婦人科医となって10年目の平成4年に当院の前身である近江八幡市民病院に赴任いたしました。それ以来、出身地である滋賀県の周産期医療に少しでも貢献したいとの思いで多くの妊婦さんを診てまいりました。お母さんに何事もなく無事に元気な赤ちゃんを出産していただくことが理想ですが、お母さんのからだや子宮の中の赤ちゃんに異常が見つかり、長期の入院や帝王切開が必要になることも少なくありません。また、近隣の医療施設から救急車で搬送されて緊急帝王切開となる人もおられます。私たちスタッフは異常を早期に発見し、必要に応じて適切な処置をすることにより、妊娠・分娩がお母さんと赤ちゃんにとって安全に経過することを目指して努力してまいります。



特集

地域を支える周産期医療

問 総合医療センター TEL (33) 3151 (代表)

「周産期」とは、妊娠後期(妊娠満22週)から早期新生児期(生後満7日未満)までの期間をいい、この時期は、合併症妊娠や分娩時の新生児仮死など、お母さんや赤ちゃんの生命に関わる事態が発生する可能性があります。

この時期のお母さんと赤ちゃんのからだについて、産婦人科・小児科が連携した総合的な医療を提供することで母子の健康を守るのが周産期医療です。

全国的な産婦人科の医師不足により、滋賀県内においても産科クリニックが閉院したり、分娩の取り扱いを中止したりする病院も見受けられることから、妊娠や出産にかかる周産期医療体制を充実させることが求められています。

今回は、当院の地域周産期母子医療センターの取り組みについて紹介します。



病床数 6床

GCU

Growing Care Unit

GCUでは、NICUでの治療を乗り越え、状態が安定してきた赤ちゃんが、この部屋に移動して引き続きケアを受けます。自宅に帰る準備をしている赤ちゃんが入院する新生児治療回復室のことです。

当院では、ご家族にも使用いただける沐浴室やゆったりとカンガルーケアを行ったり授乳練習ができる授乳室、面会通路の窓越しに、ご両親だけでなく、それ以外のご家族もお近くで赤ちゃんの様子を見ていただけるなど、ご家族だけの時間をゆっくりと過ごしていただけるスペースを確保しています。

病床数 9床

NICU

Neonatal Intensive Care Unit

NICUとは、出産予定日より早く生まれた赤ちゃん(早産児)や体重が小さく生まれた赤ちゃん(低出生体重児)、病気の治療が必要な赤ちゃんなどが入院している新生児集中治療室のことです。

ここでは新生児を専門に治療する医師や看護師などが、24時間体制で治療やお世話をします。NICUでは赤ちゃんの呼吸や心拍、体温を管理するための機械や設備を整えています。また、生まれてきた赤ちゃんがびっくりしないように光や音の刺激を少なくしたり、気持ちよく安静に過ごせるように赤ちゃんの環境を整えています。

